

- 2018年6月から「統合イノベーション戦略」（閣議決定）に基づき、2018年9月に統合イノベーション戦略推進会議を設置。2019年4月にAI戦略パッケージを策定予定。
- 内閣府等では、人工知能と人間社会の関わり（人工知能と人間社会に関する懇談会）や公共財としてのAIの在り方（人間中心のAI社会原則検討会議）について検討。
- 総務省では、AIの研究開発及び利活用において留意すべき事項としての原則・指針やAIネットワーク化が社会・経済の各分野にもたらす具体的な影響とリスク評価等について検討（AIネットワーク社会推進会議）。
- 経済産業省では民間事業者等のデータ契約ガイドラインを策定。文部科学省ではSociety5.0に向けた人材育成について検討。厚生労働省では保健医療分野におけるAI等の活用について検討。

	2015-2016年度	2017年度	2018年度
政府全体	<p>▲人工知能技術戦略策定 (2016.3)</p>	<p>統合イノベーション戦略▲ 閣議決定 (2018.6)</p>	<p>統合イノベーション戦略推進会議 (2018.9~) 議長：官房長官 AI戦略実行会議 (有識者会議)</p>
内閣府等	<p>人工知能と人間社会に関する懇談会</p>	<p>▲報告書 (2017.3)</p>	<p>人間中心のAI社会原則検討会議</p> <p>人間中心のAI社会原則▲ 策定予定 (2019.3)</p>
総務省	<p>▲報告書2015 (2015.6) ▲AI開発原則 (8原則) (2016.4)</p> <p>▲報告書2016 (2016.6)</p>	<p>▲報告書2017 (2017.7) ▲国際的な議論のためのAI開発ガイドライン案 (2017.7)</p>	<p>▲報告書2018、AI利活用原則案 (2018.7)</p>

※2018年10月より、未来投資会議産官協議会において、第4次産業革命関係として「次世代ヘルスケア」、「フィンテック・キャッシュレス」、「次世代インフラ」、「スマート公共サービス」、「次世代モビリティ/スマートシティ」について議論開始。